

2011年 1月15日

今回のおすすめメニュー

『港町ヨコハマ 異人館の秘密』

…No Image…

山崎洋子／著

(あすなろ書房)

所蔵館：勝連

請求記号：913ヤ

YA時代ミステリー。

江戸時代が終わり、時代が大きく変わった**明治の横浜**が物語の舞台。

身分制度がなくなり、侍や商人、農民といった身分にとらわれず、誰もがチャンスをつかめるようになった。また、男尊女卑の考えも改まっていき、外国人への迫害も残るものの、外国から布教にきた宣教師らが女子教育のために開いた学校で、女子にも高等教育を受ける機会が広まっていく。

主人公の少女**おりん**も、ミッションスクールへ通う一人。奨学金で、**フェリス和英女学校**に通っている。稼業を手伝い、人力俵も引いている。

ある日、グランドホテルで客をおろした後、二階のバルコニーから飛び降りようとする人影を見る。外国人だと思ったドレスを着た女の人は何んと、同級生の喜美ちゃん！「**悪魔から手紙がきて、殺される**」と言う…。

寄宿舍で喜美と同室のハーフの美女、村上里津。里津の父親、宗介とイギリス人の母親シェーン。グランドホテルのシェフ、北岡留伊。英語教師、ミス・リード。人々の思惑が絡み合う中、おりんは自殺未遂の裏にある真相を探っていく。そこには、哀しい真実がかくされていた。

夢と勇気を持って、一步を踏み出せば、なんだって叶う。

この町の、この時代に生まれたことは、きっと意味があるのだ。

おそらく、誰にとっても。

(本文より)